

友情忘れない - タイ高校生が帰国

タイから来結したメーサイ校のナトナレエ・チェンサンワンさんとアルティタヤ・インカさん、パヤオピタヤコム校のノッパナド・ブアパド君、サオワネ・ティアンプラコンさんの高校生4人は、結城一高と結城二高で約1カ月間、高校生活を体験し、5月4日にタイに帰国します。約1カ月間という短い時間でしたが、ともに高校生活を送った日本のクラスメートたちと打ち解け、「タイに帰っても、ずっと友情を忘れない」と話していました。

4人は、結城市とメーサイ市の姉妹都市締結を記念し、両市の高校生の交流を進めようと、公益財団法人「茨城国際親善厚生財団（I I F F）」の国際交流事業で受け入れ、今年で4年目となりました。

結城一高の2年生と勉強したナトナレエさんとアルティタヤさんは、4月27日にお別れパーティーを開催。みたらし団子とお好み焼きをクラスメートと一緒に作り、歌や踊りで別れを惜しみました。

結城二高の3年生と学んだノッパナド君、サオワネさんは、結城紬や陶芸の伝統工芸をクラスメートと一緒に体験しました。

タイの高校生たちは、クラスメートたちと「分かるのは寂しい。また日本に来たい」、日本の高校生たちは「タイに行ってみたい」と話していました。

平成 28 年 4 月 29 日

お別れパーティーで触れ合いを深めたナトナレエさんとアルティタヤさん↓



↑クラスメートと一緒に伝統工芸を学ぶノッパナド君、サオワネさん

